

Awara News

あわらニュース vol.50

平成26年5月1日発行

「多くの人の笑顔のために」

- 障害児(者)、血液・免疫、長寿をはじめ、地域に求められる医療を提供します。
- 患者さまの目線に立って、すべての患者さまに懇切丁寧な医療を実施します。
- 医療技術、安全管理の研究・研修につとめ、より質の高い医療を追求します。
- 国立病院としての公共性を確保のもと、効率的で自立した病院経営を推進します。



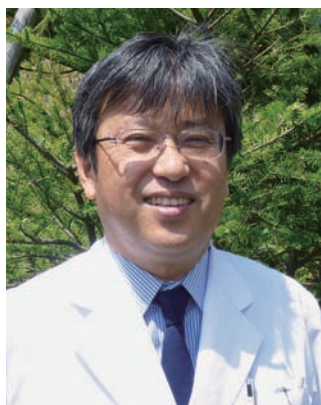
撮影:勝木学三様

満開の桜

小児科医長 大坂 陽子

4月になり、新年度を迎えました。4月上旬のあわら病院では満開の桜を数日にわたって楽しむことができ、とくに午後のぽかぽか陽気の期間帯には、病棟の周辺を散策している患者さまを幾度かお見かけしました。さて、インフルエンザは収束に向かいましたが、アレルギー性鼻炎や喘息で来院される方が増えています。皆様、なおいっそう日頃の健康管理にご留意ください。写真は患者さまから頂いたもので、桜のトンネルの向こうに見えるあわら病院の新病棟です。

新年度を迎えて:特色を生かした地域医療への貢献



院長
津谷 寛

例年になく早い桜の開花とともに新年度を迎えることができました。あわら病院では今年の春も多くのフレッシュな人材を迎えることができ、職員一同、気分を一新にして働いています。

さて、当院は「地域に求められる専門医療の提供」を自分たちの使命として掲げ、重症心身障害児(者)医療、難病医療(血液・免疫・神経)医療、長寿医療を専門として力を注いでいます。昨年度は「地域医療への貢献」を目標に、地域の診療所から肺炎等の感染症、嚥下栄養障害、臓器不全など急性増悪時の引受など在宅療養の後方支援、短期(レスパイト)入院の拡充、あるいは人工呼吸器を装着するかたの入院受け入れなどの重症心身障害児(者)医療、難病医療の診療枠の拡大、あるいは難病の方への訪問診療・訪問看護を行

い、地域に密着した専門医療の充実を図ってきました。また、小さな病院ながらも専従の教育担当看護師長、安全管理担当看護師長、さらには臨床研究支援コーディネーターを配置し、安全で質の高い医療の推進を図っています。ホームページのリニューアルやブログでの情報発信も好評を得ることができ、支持していただきました皆様にあらためて感謝いたします。

国は今、いわゆる「2025年問題」に対応して診療報酬の改正が今月になされ、急性期病院における医療の効率性を高め、一方では在宅医療への移行を促す施策が進められています。国立病院機構では設立11年目の年度にあたり第3期中期計画が始まりましたが、同計画では地域の診療所や他の病院との連携を推進し地域での信頼を高め、より一層、地域医療への貢献を果たすことが求められています。あわら病院では、患者のかたの生活の場がみえる地域医療福祉ネットワークのなかで、自分たちの特色を生かした医療サービスの提供をさらに追求していきたいと考えております。まだまだ克服すべき課題は多く、戸惑うことも少なからずありますが、これからも職員一同、変わらぬ情熱をもって進み続けていきますので、よろしくお願い申し上げます。

第7回 坂井・あわら高齢者医療研究会を開催して

当研究会は、坂井地区(あわら市・坂井市)における高齢者医療の質の向上を図ることを目的に当院と地域施設・診療所との連携で立ち上げました。

これまでに当研究会では「高齢者の肺炎」「終末期医療」「摂食・嚥下障害」、そして昨年度は「高齢者が食べられなくなったら?」という問題を取り上げました。今年度は、昨年に引き続き「もし、食べられなくなったら・・・自分らしい生き方の選択とその後を支えるケア実践編」として2月10日に開催し、あわら病院、芦原メロン苑、坂井地区医師会訪問看護ステーションのそれぞれの看護職から実践報告が有りました。また、特別講演ではナラティブホーム理事長・ものがたり診療所所長 佐藤伸彦先生に、ご講演頂きました。内容はまさしく今回の研究会のテーマ「もし、食べられなくなったら・・・実践編」であり、写真や動画など

による実践場面の紹介はわかりやすく、心打つもので、目頭を押さえる参加者も目立ちました。

参加者数はこれまでの最高の158名であり、22カ所の事業所から、また医療職、福祉職、介護職、事務職等、多職種の参加があり、テーマが病院に限らず施設、在宅医療共通に関心の高いものであったことがわかりました。

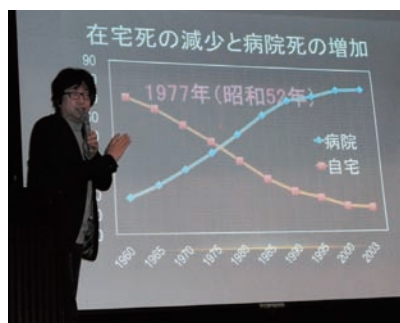
当研究会の開催も7回目となりましたが、終了後のアンケートでは、「毎回ありがとうございます」「役立つ話ばかりで、毎回楽しみにしています。」「毎年、1年間のテーマを作って頂きありがとうございます」など、当研究会も地域に定着してきたようでうれしく思います。

今後も、地域の高齢者医療の質の向上の為、当研究会を継続、発展させていきたいと思ひます。



坂井・あわら高齢者医療研究会
実行委員会副委員長
前副総看護師長

奥田 弥生



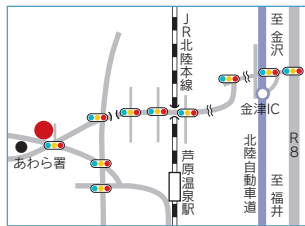


地域医療連携施設のご紹介



あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

介護付有料老人ホーム ケアハイツ芦原



ケアハイツ芦原

〒910-4113 福井県あわら市横垣第18号11番地
TEL (0776) 77-3600 FAX (0776) 77-2875

田園風景が広がるあわら市横垣に「介護付有料老人ホームケアハイツ芦原」は平成元年に開設いたしました。

現在、118名のご入居者様が生活されております。入居条件といたしまして60歳以上ならどなたでも、自立の方から一番介護度の重い要介護5の方までご入居でき、様々な専門職のご支援のもと終身利用可能な「終の棲家」となっております。また医療面でも隣接している横垣クリニックをはじめ、あわら病院等近隣の病院とも連携させていただきながら対応をおこなっております。

ホームは、ただ介護が行われるだけの場所ではありません。ここはもうひとつの「我が家」。お友達とおしゃべりしたり一緒に趣味を楽しんだり・・・

入居者の皆様にくつろいで過ごしていただける空間で、充実したセカンドライフをご提供できるよう私たち「ケアハイツ芦原」は取り組んでまいります。今後ともよろしくお願い致します。

病院自慢大賞を受賞しました

放射線科 問端 則孝

放射線科の 自慢内容

当院の放射線科では地域診療所の検査依頼に対して、ほぼ希望の時間で当日検査・当日読影・当日読影結果報告（約2時間以内）が出来ること。

毎年当院で行われている活動報告会の病院自慢の部で、放射線科の遠隔読影システムを用いた委託検査システムが自慢大賞を受賞しました。

このシステムは、他病院ではあまり出来ないことであり、地域診療所のサポートとして利用しやすい環境を整えていることが選ばれた理由と思われます。

当院の放射線科では、MRI 検査・CT 検査・骨塩定量検査の委託検査を行っています。診察により、MRI検査・CT検査等の必要が生じた時、当院のスピーディーな委託検査を是非ご利用ください。患者さんの負担軽減と、診療の支援の両面でお役にたてればと思っています。詳しいことは地域医療連携室までお問い合わせください。



CT装置



MRI装置

外 来 担 当 医 表

(平成26年5月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総 合	内 科	津 谷	大 槻	見 附	(交替制)	青 山
	小 児 科	大 坂 *	川 満 *	大 坂 *	大 坂 *	川 満 *
専 門	血液・リウマチ			津谷／浦崎 *	津 谷	
	痛 風				津 谷 *	
	生 活 習 慣 病			西坊 (第1・3)		
	老 年			桐場 (第2・4・5)		桑 田
	神 経			林 (第1・3・5)		
	循 環 器	見 附	見 附			
	小 児 神 経		川 満			川 満
	外 科	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤	齊 藤
	整 形 外 科	長谷川				
	眼 科				吉 岡 *	
	皮 膚 科		若 原			若 原
	地 域 ケ ア					桐 場

● 受付時間8:30～11:30 ● 黄色枠は予約制 ● *印は午後診察 ● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※専門内科の午後診察は、14:00～16:00です。

療育指導室だより

療育指導室 児童指導員 東 優美

あわら病院の重症心身障害児者短期入所事業では、

①利用者・家族の負担を軽減し、安心して利用していただくために病院福祉車両での送迎サービスを行っています。その際に、道中の健康管理等医療が必要な方には**看護師(9:30～14:30)**、それ以外の方には**児童指導員(9:30～17:00)**が同乗させていただいています。

②毎月第4週土曜日の午前には入浴サービスを実施させていただいています。在宅での入浴が困難になってきた方、家族の介護負担が増えてきた方は是非サービスをご利用ください。(入浴目的での短期入所ご利用も可能です。)

わからないこと・相談したいことがありましたら、あわら病院 児童指導員 東(ひがし)までご連絡ください。(あわら病院:0776-79-1211)



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北湯238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249

〈地域医療連携室〉TEL.79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261

URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
呼吸器科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教 育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北湯花苧蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]
- ③当院シャトル便(直通)

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]
- ③当院シャトル便(あわら湯の町駅経由)

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、またはホームページ(交通案内)をご覧ください。